

平成30年度事業報告書

第1 清掃

1 施設

(1) 船舶

船名	総屯数	主機関	速力	乗組員	集積能力	形式	備考
清港丸	19.0t	ディーゼル 345 ^{PS} ×2基	10.0kt	4名	20m ³	デイスローター式	名古屋港管理組合から 無償借受
あゆち	14.0t	ディーゼル 130 ^{PS} ×2基	7.0kt	3名	12m ³	デイスローター式	
きよかわ	4.9t	ディーゼル 112.8 ^{PS} ×1基	8.5kt	3名	3m ³	曳舟兼清掃船	
塵芥運搬船	—	無動力	—	—	30m ³	—	

(2) 土地及び建物

用途	所在地	土地面積	建物面積	備考
事務所及び船舶基地	港区作倉町1番95号	984.95 m ²	175.52 m ²	名古屋港管理組合から無償借受
作倉作業基地	港区作倉町101番	991.48 m ²		// (含護岸敷)
中川作業所	中川運河南幹線11号地以南	159.48 m ²		// (土地)

(3) 起重機

種別	形式	設置場所	用途	備考
1.0t	デリッククレーン	中川作業所	塵芥陸揚げ用	名古屋港管理組合から無償借受
2.85t	ジブクレーン	作倉作業基地	//	//

2 人員

職名	副会長兼 常務理事	事務局長	事務員	班長	副班長	作業員	計	備考
人数	1名	1名	1名	1名	1名	4名	9名	アルバイトを含む

3 作業内容

(1) 区域別形態

清掃区域	使用船舶	作業員数	基地	搬出処理作業	搬出先
港内	清港丸	3名	作倉 作業基地	可燃ごみについては、基地（作業所）備付のクレーンと名古屋市から配車するトラック及び本会借上げトラックで行う。 可燃ごみ以外の産業廃棄物については、収集運搬・処分を産業廃棄物処理業者に委託する。	名古屋市南陽工場 及び 産業廃棄物処理業者が 所有する工場
	あゆち	3名			
堀川	きよかわ （塵芥運搬船）	3名			
新堀川					
中川運河	きよかわ （塵芥運搬船）	3名	作倉作業基地 ／ 中川作業所		

ア 作業予定表に従い、名古屋港内を清掃船「清港丸」及び「あゆち」によって、悪天候と土日祝日を除き毎日巡回清掃を行った。

特に、ガーデンふ頭は名古屋港の表玄関として多数の来港者があるため、春から秋にかけて船溜りを重点的に清掃を行った。

5月の大雨と8月から10月にかけて愛知県に接近通過した台風による大量ゴミに対応した。

イ 作業予定表に従い、堀川、新堀川、中川運河を「きよかわ」で適宜清掃を行った。

中川運河については、前年度同様全域にわたって必要に応じ清掃を実施し、特に松重ポンプ所及び中川口ポンプ所付近に汚物、塵芥が集結するため月平均4回清掃を行った。

また、中川口通船門の閘室を中心に発生した浮遊死魚の処理を(3)のとおり実施した。

ウ 主な塵芥の種類は、流木（小）、木片、竹、葦、パレット、発泡スチロール、プラスチック容器、ビニール製品、ガラス瓶、ペットボトル、缶、紙屑、及び家庭廃品類等がある。

(2) 流出油処理

処理件数 0件。

本会に係る平成30年度の流出油処理はなかった。

(3) 浮遊死魚処理

浮遊死魚を発見後、清掃船を急行させ迅速に処理作業を行った。結果は次のとおりである。

種別 年月日	作業船舶	人員	処 理 量	種 類	作 業 時 間	場 所
30年 5月20日	きよかわ	3人	500匹	コノシロ	6:00~8:30	中川運河 中川閘室
5月31日	きよかわ	2人	4,000匹	コノシロ	9:00~9:45	中川運河 中川閘室
〃	きよかわ	2人	6,000匹	コノシロ	13:30~15:30	中川運河 中川閘室
〃	清港丸	3人	50,000匹	コノシロ	11:00~14:30	中川運河 中川閘室
6月1日	清港丸	4人	70,000匹	コノシロ	10:30~16:00	中川運河 中川閘室
6月4日	きよかわ	2人	10,000匹	コノシロ	8:30~11:30	中川運河 中川閘門~昭和橋
〃	清港丸	3人	500匹	コノシロ	13:30~15:00	中川運河 いろは橋~中川口
6月11日	清港丸	2人	6,000匹	コノシロ	8:30~11:30	堀 川 紀左衛門橋~堀川水門
7月2日	清港丸	3人	10,000匹	コノシロ	10:30~12:30	中川運河 中川閘室
7月13日	きよかわ	2人	3,000匹	コノシロ	9:20~9:50	中川運河 中川閘室
7月17日	清港丸	3人	3,000匹	コノシロ	15:00~16:30	中川運河 中川閘室
7月18日	清港丸	3人	1,000匹	コノシロ	14:00~15:00	中川運河 いろは橋~中川口
7月30日	清港丸	3人	10,000匹	ボ ラ	13:30~15:30	名古屋港 潮見ふ頭
7月31日	清港丸	2人	3,000匹	ボ ラ	9:15~10:00	名古屋港 潮見ふ頭
9月27日	清港丸	2人	1,000匹	ボ ラ	10:00~10:30	名古屋港 北浜ふ頭
10月2日	清港丸	2人	2,000匹	いわし	9:00~9:45	堀 川 堀川口~大江ふ頭
合 計		41人	180,000匹		30時間45分	

(4) 河川大清掃

恒例の河川大清掃を平成30年10月16日から10月25日まで、名古屋港管理組合、名古屋市及び堀川、新堀川、中川運河沿線の木材業者の協力を得て、名古屋水上交通組合と共催で実施した。また、平成30年度は60周年記念事業として、例年実施している河川大清掃出発式に併せて、今後の清掃作業が安全に行えるように作業安全供養祭を、また、中川運河で毎年増加しているへい死魚が鎮魂により減少するようへい死魚供養祭をささしまライブ24地区高架下広場等で執り行った。

河川大清掃実績

年月日	種別	河川名	出動人員及び船舶			塵芥	区間	備考
			清港会	業者	船舶			
30年 10月16日 (火)		中川運河	6人	—	1隻	0.5 m ³	松重閘門～堀止	
10月17日 (水)		堀川(※1)	3人	30人	1隻	1.5 m ³	巾下橋～松重橋	
10月18日 (木)		堀川	3人	—	1隻	1.0 m ³	松重橋～尾頭橋	
10月19日 (金)		〃	3人	—	1隻	0.5 m ³	尾頭橋～瓶屋橋	
10月20日 (土)		中川運河	5人	7人	3隻	3.0 m ³	中川閘門～堀止	(※2)
10月22日 (月)		新堀川	3人	—	1隻	0.5 m ³	内田橋～記念橋	
10月23日 (火)		堀川	3人	—	1隻	0.5 m ³	瓶屋橋～白鳥橋	
10月24日 (水)		〃	3人	—	1隻	0.5 m ³	白鳥橋～紀左衛門橋	
10月25日 (木)		〃	3人	—	1隻	1.0 m ³	紀左衛門橋～堀川水門	
合計			32人	37人	12隻	9.0 m ³		

(※1) ささしまライブ24地区まちづくり協議会メンバー約30人により堀止周辺の陸側ごみ清掃

(※2) ボランティア参加(旭運輸): 2艇・7名・1 m³回収

4 啓発・宣伝

(1) 6月21日(木)に名古屋市立東築地小学校の3年生2クラス、延べ70名が作倉作業基地の清掃作業を見学した。

(2) 以下のイベントに参加し、周辺の清掃協力並びに、「港や川をきれいにしましょう」の、横断幕を掲げ啓発活動を行った。

① 6月の海洋環境保全推進月間中

② 7月16日(月)ガーデンふ頭で開催された「みなと祭り」開催日の前後、南極観測船ふじ・船だまりに横断幕掲示

(3) 8月29日(木)にナディアパークにて、鯨城・堀川と生活を考える会の会員の方々へ講演会を開催。

(4) 9月15日(土)に久屋大通公園で開催された「環境デーなごや」実行委員会主催の「環境デーなごや2018」に参加し、来場された方へのリーフレットの配付や写真パネルの展示・説明、海・川のゴミに関するクイズ形式のアンケートの実施により、本会事業の周知を行うとともに、港湾及び河川の美化に対する啓発宣伝活動を行った。

(5) 河川大清掃期間中、堀川、新堀川及び中川運河において、船に「港や川をきれいにしましょう」の横断幕を掲げ港や川の汚染防止を呼びかけた。河川大清掃出発式当日には、名古屋市及び名古屋港管理組合の協力のもと、ポート・オブ・ナゴヤ・アミティ・スタッフからパンフレット及びタオル等を市民に配布した。

また、清掃ポスターを沿岸木材業者に配布して宣伝を行った。

(6) 「名古屋清港会」と改名してから60周年を迎えたため、以下の60周年記念事業を行った。

- ① 60周年記念誌を作成し、会員、自治体、報道機関や図書館、その他関係者等に広く配布
- ② ゴミの削減や本会事業をPRする市民向け分かりやすい内容の「海のおそうじやさん」と題したリーフレットを作成し、各種イベント時に配布
- ③ 清港会の活動と名古屋港の美化を訴えるロゴマークを作成し、以下に使用
 - ・車用のマグネットシールにして会員企業、関係自治体に配布し、車に貼りPRを展開
 - ・シールを作成し、封筒や名刺等、各種印刷物に活用
- ④ 60周年を記念するクリアファイルを作成

① 記念誌（表紙）



② リーフレット（表紙）



④ クリアファイル



③ ロゴマーク



(7) 清港会の「あらまし」及びリーフレットを、各関係機関及び一般市民に配布し、啓発に努めた。

(8) 本会の各清掃船に「港や川をきれいにしましょう」のプレートを常時取付け、港湾利用者等に港湾美化を呼びかけた。

(9) 東海テレビから取材を受け、3月17日に「What's名古屋港」海のお掃除のスペシャル～名古屋清港会～が放送された。放映された映像は、名古屋港管理組合ホームページから、いつでも視聴可能である。

5 塵芥別処理実績

内訳 月別	内 港		南 部		西 部		堀 川		新 堀 川		中 川 運 河		計		備 考	
	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)		
平成30年	4	18	113.5	9	25.0	2	2.5	13	7.5	1	0.5	4	4.0	47	153.0	
	5	20	287.0	10	67.5	1	10.0	12	10.0	1	0.5	5	7.0	49	382.0	死魚 60,500匹
	6	18	37.5	8	24.5	3	4.0	14	12.0	2	1.0	4	5.5	49	84.5	死魚 86,500匹
	7	22	134.0	5	37.5	2	1.0	14	16.0	2	1.0	3	8.0	48	197.5	死魚 30,000匹
	8	22	128.0	2	22.0	2	1.0	13	11.0	1	0.5	4	9.0	44	171.5	
	9	17	152.0	5	20.5	0	0.0	8	9.0	1	1.5	4	13.0	35	196.0	死魚 1,000匹
	10	17	56.5	13	52.0	4	2.0	12	13.0	2	1.0	5	9.0	53	133.5	死魚 2,000匹
	11	16	14.5	12	28.0	5	4.0	12	8.0	2	1.0	5	7.5	52	63.0	
	12	15	14.0	12	19.5	2	1.0	9	6.0	1	0.5	3	5.0	42	46.0	
平成31年	1	16	10.5	9	6.5	4	4.5	15	10.5	0	0.0	3	4.0	47	36.0	
	2	16	19.0	2	2.5	5	3.0	15	8.0	0	0.0	4	4.0	42	36.5	
	3	19	41.5	5	5.0	3	1.5	11	6.0	0	0.0	4	6.0	42	60.0	
計	216	1,008.0	92	310.5	33	34.5	148	117.0	13	7.5	48	82.0	550	1,559.5	死魚 180,000匹	

内訳 年度別	内 港		南 部		西 部		堀 川		新 堀 川		中 川 運 河		計		備 考	
	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)	回数	塵芥(m ³)		
平成	14	237	390.5	128	698.5	74	102.0	109	305.0	14	31.5	16	49.0	578	1,576.5	死魚 102,100匹
	15	213	795.5	113	806.5	37	62.5	95	271.0	6	10.0	18	74.0	482	2,019.5	死魚 8,640匹
	16	254	1,104.5	136	818.5	51	152.0	94	201.5	9	10.0	21	53.0	565	2,339.5	死魚 31,060匹
	17	238	616.5	162	410.0	69	120.5	148	213.0	12	8.5	23	44.5	652	1,413.0	死魚 14,121匹
	18	289	1,162.5	171	550.0	61	67.5	112	170.0	11	6.0	18	47.0	662	2,003.0	死魚 15,982匹
	19	277	658.5	145	465.5	7	8.0	117	132.0	5	2.5	16	31.5	567	1,298.0	死魚 129,580匹
	20	269	1,348.0	133	529.5	5	12.0	118	120.0	12	6.5	17	41.0	554	2,057.0	死魚 8,020匹
	21	256	1,571.2	123	580.5	21	42.0	129	133.5	21	12.5	23	52.0	573	2,391.7	死魚 265,800匹
	22	295	1,285.5	144	443.5	39	77.5	174	196.0	18	12.5	23	62.5	693	2,077.5	死魚 679,350匹
	23	268	1,513.5	140	694.5	30	67.5	166	153.5	22	13.5	22	51.0	648	2,493.5	死魚 896,900匹
	24	277	1,171.5	160	436.5	15	19.0	166	197.5	23	13.0	24	70.5	665	1,908.0	死魚 56,340匹
	25	265	1,564.0	95	349.5	19	15.5	159	186.0	17	9.0	24	58.0	579	2,182.0	死魚 254,600匹
	26	227	992.5	75	456.0	12	32.5	166	179.5	16	8.5	28	50.5	524	1,719.5	死魚 61,200匹
	27	181	572.5	60	225.5	16	21.0	152	137.5	23	13.6	29	45.0	461	1,015.1	死魚 824,480匹
	28	207	1,824.0	67	358.5	15	22.5	140	114.5	19	10.0	20	38.5	468	2,368.0	死魚 992,000匹
	29	221	2,353.0	89	365.5	16	17.0	102	98.0	15	8.0	42	83.0	485	2,924.5	死魚 1,384,766匹
	30	216	1,008.0	92	310.5	33	34.5	148	117.0	13	7.5	48	82.0	550	1,559.5	死魚 180,000匹

第2 大型漂流物除去等

1 平成30年度大型漂流物除去等については、前年度と同様名古屋港管理組合から委託を受け、名古屋港港湾区域内(河川区域内を除く)を悪天候と土日祝日を除き作業船により、ほぼ毎日巡回し航行船舶の障害となる大型漂流物の収集作業を行った。緊急の場合は携帯電話で連絡を取り対応した。

収集した大型漂流物のうち、流木は、新宝ふ頭に設置してある「アバ」内に集積し、5月25日、8月7日、10月19日、3月26日に陸揚げ作業を実施し、10月19日に処分を行った。それ以外の大型漂流物については、収集運搬・処分を随時、産業廃棄物処理業者に委託した。

なお、家電については、家電リサイクル法に基づき適切に処理。

2 主な大型漂流物の種類は、丸太、角材、板、沈廃船(ボート)、ドラム缶、プロパンボンベ、ビニールシート、タイヤ、冷蔵庫、洗濯機、ベッドマット、ふとん、タンス類、自転車、バイク等である。

3 本年度は、沈廃船を産業廃棄物として、2隻処理した。

4 使用船舶

船名	総屯数	主機関	速力	作業員	備考
そうかい	7.9トン	ディーゼル320PS×1基	15.7ノット	3名	名古屋港管理組合より無償借受

5 人員

職名	副班長	事務員	作業員	計	備考
人数	1名	1名	2名	4名	アルバイトを含む

6 大型漂流物陸揚げ処理及び沈廃船処理実績

地区別	新宝ふ頭陸揚げ処理		廃棄物処理 (沈廃船)	備考
	陸揚げ	処理		
件数	4回	1回	2隻	

7 収集及び陸揚げ実績

種類 月別	丸 太		角 材		板		船 材	木 工 品	工 業 品	そ の 他	陸揚げ 処理量 (t)	
	2m 未満	2m 以上	2m 未満	2m 以上	2m 未満	2m 以上	沈船及び 廃船等	パレット、ベニ ヤ、木片及 び箱等	タイヤ、ドラ ム、プロパン ボンバ等	竹材、ロー プ、ビニール シート、菰等		
H30年	4	21	13	4	2	2	5	0	49	3	18	
	5	22	56	7	9	2	7	0	208	8	77	
	6	25	14	6	5	4	6	0	70	5	60	
	7	82	83	17	9	2	6	0	116	8	61	
	8	50	37	11	1	2	5	1	37	4	31	
	9	55	117	12	10	0	13	0	161	10	44	
	10	90	86	9	14	16	26	1	87	7	29	18.96
	11	31	19	15	6	8	6	0	33	4	24	
	12	20	13	6	6	21	9	0	16	1	34	
	H31年	1	8	12	14	5	8	8	0	18	4	46
2		20	18	7	5	2	6	0	30	4	43	
3		17	21	8	8	5	10	0	37	1	37	
計	本 441	本 489	本 116	本 80	枚 72	枚 107		隻 2	個 862	個 59	個 504	t 18.96

※ 陸揚げ処理量(t)は、新宝ふ頭に設置してある「アバ」内の大型漂流物を陸揚げし、乾燥後、搬出した処理量